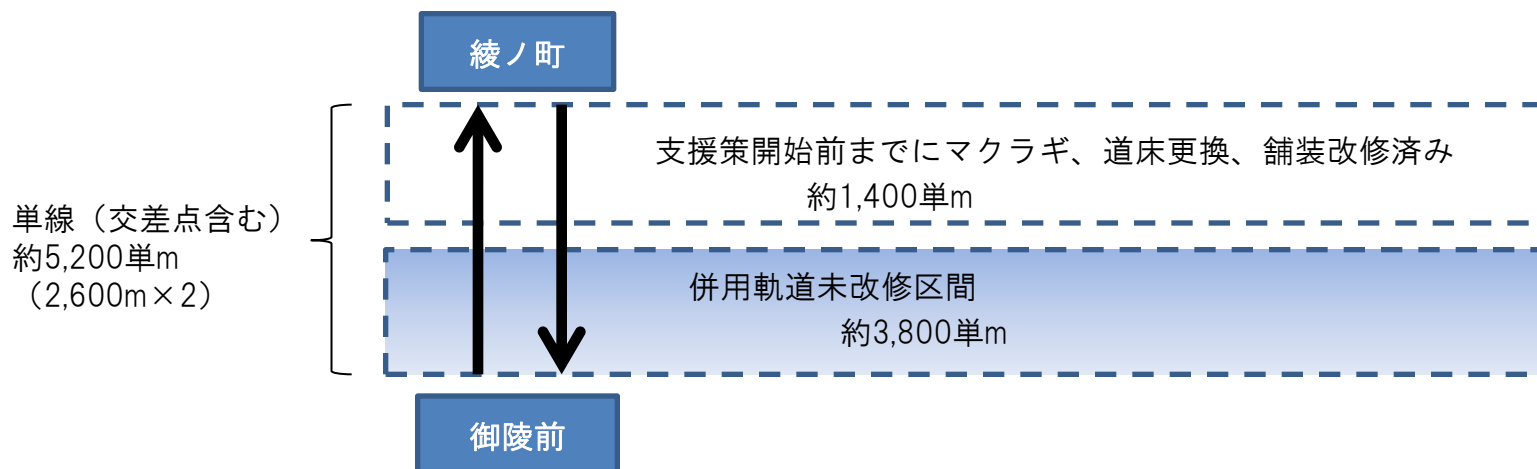


検証資料-1

(阪堺線の安全性の向上について)

■支援策前の阪堺線（堺市内区間）の軌道の老朽化対策

○支援策前の老朽化対策は、大道筋区間の一部の軌道更新のみ



■軌道の老朽化対策状況

○支援策前の改修区間を含む併用軌道（綾ノ町～御陵前間）は平成25年度までで約90%改修済み

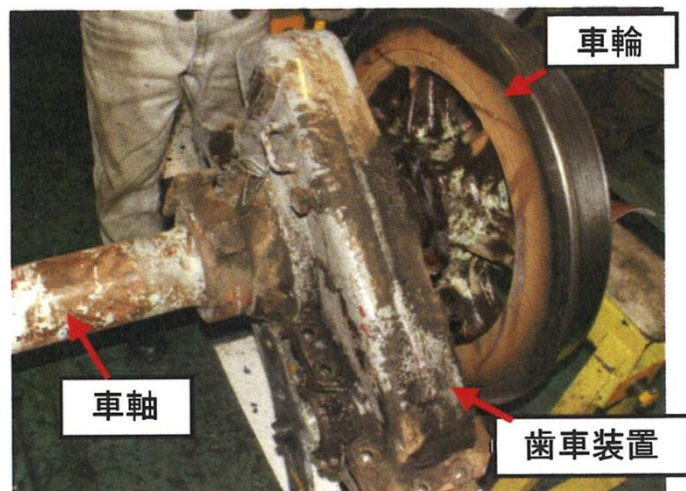
残りの約10%は平成28年度までに実施予定

○堺市内区間の専用軌道（我孫子道～綾ノ町間、御陵前～浜寺駅前間）は平成28年度以降改修予定

○緊急に改修を行う必要がある併用軌道の要整備箇所は平成25年度までで760単mを改修

■車両関係の老朽化対策による安全性の向上

- 車両搭載機器の更新により、車両故障の防止
- 運転士異常時列車停止装置の設置により、運転士が運転不能な状態時の安全を確保



老朽化した車両装置



更新された車両装置

■車両関係の老朽化対策状況

- 車両搭載機器を平成25年度までで4両分更新済み
- 残りの車両搭載機器は平成27年度以降更新予定
- 運転士異常時列車停止装置を全車両に平成28年度までに設置予定
- 運転状況記録装置を平成26年度に18両分設置
- 平成28年度までに残りの車両に運転状況記録装置を設置

■信号関係の老朽化対策による安全性の向上

- 踏切保安設備の更新により、故障による自動車との衝突、人身事故等の重大災害の防止
- 通信ケーブル更新により、通信回路断線等による保安度低下の防止



老朽化した踏切保安設備



更新された踏切保安設備

■信号関係の老朽化対策状況

- 25年周期で更新が必要な踏切保安設備（堺市内区間）は平成25年度までで約75%更新済み
- 残りの踏切保安設備（堺市内区間）は平成28年度までに更新予定

■ 電車線関係の老朽化対策による安全性の向上

- 電車線の老朽化による断線、絶縁性能低下による漏電（停電事故）の防止
- 吊架線劣化による断線事故等の防止
- 電柱の老朽化による傾き、折損による事故の防止



老朽化した電車線



整備された電車線

■ 電車線関係の老朽化対策状況

- 堺市内区間の電車線は平成25年度まで緊急な部分を補修で対応
- 堺市内区間の電車線、吊架線（電車線を吊るための線）は平成27年度以降改修予定
- 電柱立替は平成26年度に4本立替

阪堺電軌の安全への支出について

・ 支援策前の平成21年度より支出合計額が減少している中で、安全への支出の割合は毎年度同程度となっており、施設の不備な部分を元の状態に戻したり、元の機能を維持するために必要な小規模修繕も十分行えている。

(千円)

	平成21度	平成22度	平成23度	平成24度	平成25度	平成26度
安全への支出	560,285	476,301	518,669	486,109	458,620	500,302
安全以外への支出 (旅客サービス等)	983,504	976,347	995,257	1,049,400	1,014,172	945,179
支出合計	1,543,789	1,452,648	1,513,926	1,535,509	1,472,792	1,445,481

